

1 財政基盤の確立について

論点	将来にわたって安定した行財政運営を確保するには、財政規律の健全化を遵守することが、地方自治の原点だと思う。そこで財政計画と基本計画・実施計画及び予算編成の在り方について伺う。
回答	市政運営の上で、財政基盤の確立、財政支出の堅持が非常に重要である。財政計画を一つの指標としながら、その能力の範囲で、できる限度で行政計画、実施計画等を立ち上げていく。本年度の予算編成、事業計画もそのような点について十分検討した。

論点	政策は、事業の「選択と集中」を徹底したとのことだが、その具体的対応について伺う。
回答	実施計画の総合評価を踏まえ、事務事業の優先順位の明確化を図り厳選に努めている。本年度は、特に防災、減災、消防力を初めとした安心・安全な地域社会の基盤づくりに重点を置いた。限られた財源の中で、市民の生命、財産を守るという市が果たすべき最も重要な役割をしっかりと果していきたい。

2 成長戦略について

論点	政策として捉えたとき、「新たな挑戦」「可能性の追求」などを期待するが、その目指すものは何なのか具体的に伺う。
回答	事務分掌によるその所管、あるいは主管課等で壁があり、それを一時的に皆で協力し、知恵を絞って乗り越える必要がある。難しい問題については、市役所が一つのチームとして知恵、助言、実働及びフットワークで協力していく構想である。

3 少子・高齢化対策について

論点	少子化対策としての後期計画は平成22年から26年となっているが、その進捗状況の点検と評価の実態はどうか。
回答	山陽小野田子育て元気プランに沿って実施している。その中で重点的に児童クラブやファミリーサポートセンターの充実、延長保育や

	一時預かり、保育ニーズへの対応等に取り組んでいる。PR不足や提供会員の不足により活動実績が伸びていない。地域全体が家族となるような、総合的支援の推進が必要と考える。
--	--

論点	高齢化社会を長寿社会として喜びに変え、ともに生涯現役を貫く機運を盛り上げるべき。意欲と能力のある方には、現役シニアとして社会を豊かにする就業の場を与えるべきでは。
回答	技能、能力を生かした起業、ボランティア活動・家事支援など社会参加や生活支援活動を推進する。社会的役割を持ち、お互い支えあうこと、生きがいや健康保持、地域福祉、さらに地域経済の担い手としての活躍が期待される。

4 産業の活性化について

論点	「農林水産業の基盤整備を図る」とあるが、そのうち特に林業施策が遅れている。担い手の育成等今後の対応はどうか。
回答	林業への取り組みをもう一度見直す必要がある。県美祢農林事務所やカルスト森林組合と協力し、担い手の確保や林業、森林に対する啓発に努めたい。

論点	オートレース事業は、極めて深刻かつ重要な時にあり、特に慎重な対応と英知を結集した対策が必要。再生への新たなスタートに立った今、「チーム市役所」の出番ではないか。
回答	これまでの姿勢を改め、共同事業者として真剣に取り組む。細かい問題も含めてきちんと一つ一つ取り組んで行きたい。4月1日から「レッツゴー山陽オート」と記した幅広で赤の名札紐にし、市長を含め全職員使用する。